

あつという間に、年の瀬。一年を振り返り、お世話になった方々への感謝の心、ご先祖への感謝の心を持って、新しい年を迎えたいものですね。お正月に神(年神)お正月様をお迎えする齋場である家を浄めるため、昔から年中行事として、一年の塵を払い、大掃除をしてきました。家族みんなで協力し合い、楽しく行き届いたお掃除をしましょう。



【冬至】十二月二十一日(来年は二十二日)

古来、冬至は新年の起点として考えられていました。というのも、冬至は一年で最も日が短く、この日を境に昼間の時間が延びていくからです。また、昼は長くなってはゆきますが、寒さは一段と厳しくなってきました。

冬至が近づくと、日照時間もぐっと短くなり日光もめっきり弱まります。そして冬のきわみ(至)となります。北半球の人々は、太陽の衰えとともに悪霊や邪気が活動すると考え、それを封じたりなだめたりする魂しずめ(鎮魂祭)を行います。またこの日を拠点として太陽は新生するので「陽来復」を祝う祭りとなり、冬至の夜には、幸運を迎えての火祭りとなり、心身の復活と蘇生の祝いとなります。まるで、「天の岩戸開き」の時のようですね。

冬至前後、伊勢神宮では、宇治橋の大鳥居の間から昇る朝日を拝むことができます。冬

至の日にはちようど中央に昇るため、これを撮ろうとする人々が全国から詰めかけます。冬至にゆず湯に入り、かぼちやを食べるのは全国的に見られる風習で、無病息災を願うのもです。



【大晦日】十二月三十一日(大祓)

十二月三十一日は大祓(みそぎはらい)が行われます。大祓というのは、紙で作った人形に名前を書いて息をふきかけたり体を撫でたりしたものを神様の前にお供えしてお祓いをする儀式で、今から千七百年程前の仲哀天皇が崩御なされた時、国として大祓を行ったのが最初で、それ以後ずっと宮中や民間の間で年中行事となりました。

日本においては、人間の本性は、完全で円満な美しい魂をもった日子・日女(天照大御神の子)であるから、上についたほこりならば、はらったらとれて、本来の姿に帰る、と考えられていました。日本人は祓うべきものは、諸々の罪と穢れという二点にしぼっています。罪とは、「本来神の子の本当の姿をつつみ隠していること」。穢れとは、「気枯れ」とも書かれるように気が枯れること。包みをほどき、気枯れをはらうとは、生き生きと明るく朗らかに、神の子の陽気いっばいに生きることです。禊ぎ祓いの根本は、神の子人間の自覚を生き、「天の世界そのままに地上に理想世界を実現する」という古事記に記された国生みのみ心に仕へ奉る(祭り)ことだそうです。

和歌コーナー

まおちゃん きやつすたちと ほのちやんと

みんなだいすき なかよしだよ

年少 K・M

☆大好きなお友達がいて、美晴ちゃんは幸せね。

キャンプにいつて おてつだいしたよ

ようちえんの おてつだいしたよ

こどものてつだい

年長 K・Y

☆お手伝いが上手な祐大君。素晴らしいですね。

ゴーヤのたね どんなおいがするのかな

たべられるのかな おいしいのかな

小学二年 M・S

☆自然教室でゴーヤの実や種を、興味をもって観察していましたね。

くりのいが さわってみたら

ちくちくしたよ どの山から

ひろってきたの

小学二年 T・Y

☆素直な気持ちのまま和歌にできましたね。

ゴーヤの実 ほおっておくと 黄色になる

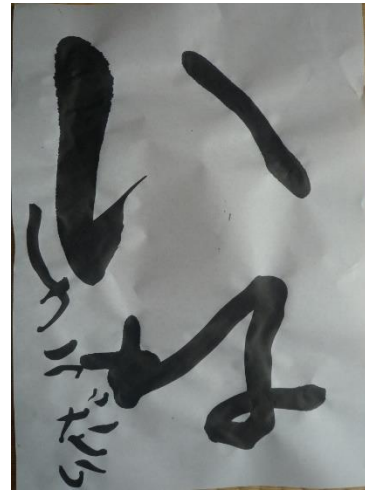
中身のたねは 気持ちかわるい

小学三年 K・S

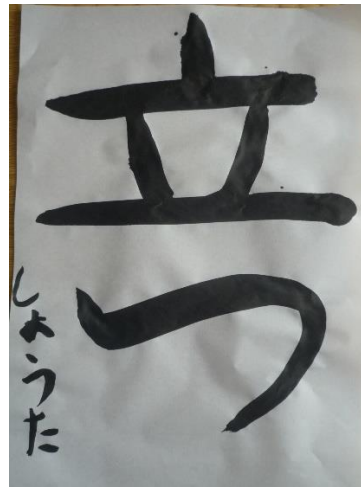


☆ゴーヤの実が黄色に熟して、中の種も赤くなるのね。自然の力は不思議ですね。

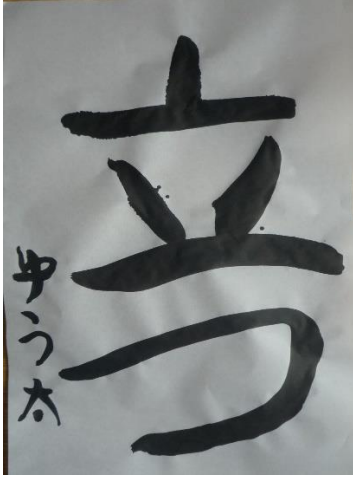
書道作品



年長 K・Y



2年 M・S

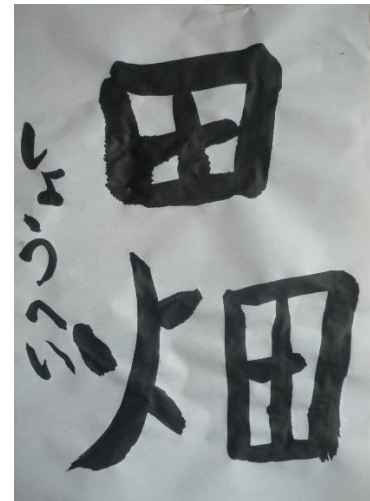


2年 T・Y

Y君 白い半紙に、筆を持って字を書く楽しさを味わえましたね。お手本をよく見て書けました。

S君 筆にたっぷり墨をつけて、自信をもって力強く堂々と書けました。筆を立てて書いています。

Y君 紙いっぱいに大きな気分で堂々と書いています。名前も、とても上手です。



3年 K・S

S君 筆を立てて、丁寧な

紙いっぱいに伸び伸びと書けまし



おめでとうございます！

小山翔平君、最優秀賞に輝く！！

「お父さんありがとう」

「お母さんありがとう」

全国小学生作文コンクール

「生命の教育」誌一月号に掲載！

声に出してひびきを味わおう

今月の言葉

万葉集

柿本人麻呂

ひんがし

東の野に

かぎろひの

立つ見えて

かへり見すれば

月傾きぬ

(大意)

東方の野には、刻々と白みわたつて来る。黎明の光が動き、振り返つて西の空を見ると、まさに月が山の端に沈もうとしている。

「万葉の世界と精神」(日本教文社)より

次のなでしこ寺子屋は

一月二十三日(土) 六階和室です。

皆さん、よくがんばった一年でしたね。

来年も、きつと無限力を発揮する年となります。

どうぞ、よい年をお迎えくださいね。

(藤波礼子)